

(臨床研究に関するお知らせ)

院外心停止で医療機関へ救急搬送された患者さんとその御家族へ

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

院外心停止患者における心停止発症からアドレナリン投与までの時間と転帰との関連性の検討

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 助教 國立晃成

3. 研究の目的

心停止に対する唯一の薬であるアドレナリン投与について、院外心停止発症からアドレナリン投与までの時間が予後にどのように影響を与えるかを調べること。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

紀北メディカルコントロール管轄内での心肺停止の患者さんで、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの期間中に、院外心停止で医療機関に救急搬送された方。

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、年齢・性別・発生場所・心停止発症時刻・薬剤投与有無・薬剤投与時刻・目撃の有無・救急隊の処置内容・心電図波形・自己心拍再開の有無・1週間、1ヶ月生存に関する情報です。

(3) 方法

救急隊の心肺停止での搬送事案は、様式の統一された検証票に記録されます。その検証票からデータを抽出し、病院前救護の時系列、初期波形別、アドレナリン投与、目撃者のあり、なしのそれぞれで、生存の割合を比較する。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

資金源及び利益相反はありません。

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学救急集中治療医学講座 担当医師 國立晃成

TEL : 073-441-0603 FAX : 073-447-2360

E-mail : koseik@wakayama-med.ac.jp